

市議会だより

東松島市

第47号

平成30年2月1日発行

平成30年新春 (野蒜海岸 初日の出)



- 議長新年のあいさつ…………… P2
- 補正予算 仮設建築物の解体事業費等を計上… P3
- 一般質問～16人が市政をただす…………… P7
- 議会懇談会～3会場で市民と意見交換…………… P18



議会映像配信サイト
QRコード



ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/gikai>
E-mail h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp
議会映像配信ページ <http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp>

発行／宮城県東松島市議会
編集／議会広報常任委員会



新年のあいさつ

東松島市議会議長 阿部 勝徳

あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。
また、常日頃より議会に対しまして深いご理解とご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災の発災からもうすぐ丸7年を迎えます。防災集団移転団地などの住居系の整備は順調に進み、当初計画分の災害公営住宅については昨年8月までに完成、現在追加分の建設が柳の目西地区に急ピッチで進められております。災害復旧した森の学校、宮野森小学校からは子供たちの歓声が聞こえ鳴瀬未来中学校は新校舎での生活が始まります。また、平成32年度内の完成を目指し鳴瀬桜華小学校の造成工事も始まります。

被災した市民センターや集会所等も復旧し、市民の皆様が集い新しいコミュニティづくりに取り組むなど、昨年はさらなる復興の進展が感じられた年だったのではないのでしょうか。しかし、復興はまだ道半ばです。平成32年度までとされています復興期間内での完結を目指し、市当局の立場を尊重しつつ、市民の皆様とも一丸となって「心の復興」を含め復興の加速化に努めていきたいと思えます。

少子高齢化人口減少社会の到来を迎えさまざまな課題に直面していますし、活力ある東松島市の創生が求められています。

市議会では議会の最高規範とされています議会基本条例の検証や、議員定数および報酬等ならびに政治倫理に関する調査を実施しています。そしてそれを基に、さらなる議会改革を進め、議会力を高めながら諸課題に対応し、市民の皆様の負託にこたえる意思決定、行政執行監視および議会意思表明などを行ってまいります。

昨年4月の改選により、新体制での議会活動が始まっていますが、今年も議員一同全力で東松島市のさらなる発展に向け努力していきたいと思えますので、今後とも市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。年頭にあたっての挨拶といたします。

あけましておめでとうございます



後列左から	大橋 博之	櫻井 政文	佐藤 富夫	長谷川 博	熊谷 昌崇	滝 健一
中列左から	小野 幸男	小野 恵章	阿部 勝徳	阿部 としゑ	土井 光正	五ノ井 惣一郎
前列左から	石森 晃寿	上田 勉	手代木 せつ子	齋藤 徹		熱海 重徳

12月補正予算総額 2億8、958万2千円

仮設建築物の解体事業費等を計上

平成29年第4回定例会において、一般会計ほか6特別会計の補正予算を慎重審議し、可決しました。多数の質疑がありましたが、何点か質疑および答弁の内容をご紹介します。

Q ①総務費、地域おこし協力隊活動費補助金 構成と今後について。

A 現在は13名で活動している。(元9名、新4名) 事業を通して、本市に魅力を感じ定住していただくよう努めたい。

Q ②総務費、地区サポートセンター解体撤去工事 解体に伴う備品の扱いについて。

A 社会福祉協議会と協議し適切に処理する。

Q ③衛生費、特定不妊治療助成金 状況と成果は。

A 11月末現在で25件の申し込みがある。

り、助成をしている。助成対象の方で、母子手帳を9件交付し、一定の成果と捉えている。今後、申請が予測される15件分の補正。

Q ④土木費、道路橋りょう復興費、避難道路整備 債務負担行為の理由について。

A 橋げたの製作に要する期間が通常より4か月ほどかかり、年度内完了が見込めないため、債務負担行為を設定するもの。

Q ⑤土木費、住宅復興費、調査測量設計業務委託料 内容について。

A 柳ノ目西地区集団移転地周辺の道路整備に係る調査測量設計業務委託料。

Q ⑥教育費、監視カメラ設置工事(赤井小、大塩小) 今後の設置予定は。

A 来年度は矢本東小、大曲小を予定している。また、赤井南小については、大規模改修時に予定している。

Q ⑦教育費、矢本第一中学校E X P . J改修工事 詳細は。

A 耐震構造に使われる部品で交換が必要となったため。



▲地域おこし協力隊による企画イベント(奥松島マルシェ)



債務負担行為Ⅱ

1つの事業が単年度で終了しない場合、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決める。全体の期間と負担額(限度額)を確定させ、将来の年度の負担を約束する。歳出予算に含まれず、支出時は改めて予算計上が必要。

12月補正予算 質疑があった事業 (細々節名)

(単位:千円、△は減額)

No.	款	細々節	補正額(増額)
1	総務費	地域おこし協力隊活動費補助金	△3,400
2		地区サポートセンター解体撤去工事等(工事請負費)	21,296
3	衛生費	特定不妊治療助成金	3,000
4	土木費	避難道路整備工事	△595,000
		【債務負担行為】東名・新東名線避難道路整備工事 ※期間(平成29~30年度)	【限度額】222,000
5	土木費	【債務負担行為】台前・亀岡線避難道路整備工事 ※期間(平成29~30年度)	【限度額】120,000
		調査測量設計業務委託料	18,905
6	教育費	監視カメラ設置工事(赤井小、大塩小)等(工事請負費)	△4,782
7		矢本第一中学校E X P . J改修工事(工事請負費)	△1,700

12月補正予算の状況

(単位:千円、△は減額)

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	△4,516万0	459億3,290万0	
特別会計	国民健康保険	2億2,242万9	57億4,578万0
	介護保険	371万9	31億1,896万3
	農業集落排水事業	△39万8	1億3,548万1
	漁業集落排水事業	△2万6	881万9
	下水道事業	5億0,482万5	119億7,875万4
	大曲浜土地区画整理事業	△3億9,580万7	9億0,495万6
合計(一般会計+特別会計)	2億8,958万2	678億2,565万3	

議案第145号
(総務常任委員会付託)

東松島市蔵し
つくパークの
指定管理者の
指定について

公募による指定管理者候補者の募集を行ったところ、3社が資料を求めにきて、内、1社から応募がありました。ただし、1社なので無条件で決定するわけではなく、市の指定管理者選定委員会による厳密な審査を受け、特定非営利活動法人東松島まちづくり応援団を引き続き、東松島市蔵しつくパークの指定管理者に決定いたしました。

委員長報告は原案可決すべきものと報告され、本会議では全会一致で可決されました。



▲蔵しつくパーク (矢本字北浦)

議案第119号
(産業建設常任委員会付託)

農業委員会等に関する
新規条例制定

農業委員会等に関する法律の一部を改正する法律が平成28年4月1日施行されたため本市でも新規条例として制定するものです。

法改正の主な内容は

- (1) 農業委員会の事務の重点化
- (2) 農業委員の選出方法等の変更（公選制から議会の同意を得て市長の任命制に変更）
- (3) 農地利用最適化推進委員の新設です。

農業委員の定数は16人、推進委員は11人。

また報酬額の変更については、本市の農地面積農家戸数から妥当であると判断しました。

委員長報告は原案可決すべきものと報告され、本会議では全会一致で可決されました。



▲農地利用の最適化が期待される

議案第120号
(産業建設常任委員会付託)

東松島市中小企業小規模企業
振興基本条例について

国において小規模企業振興基本法（平成26年法律第94号）が施行され同法において地方公共団体の区域内の諸条件に応じた小規模企業に関する施策の策定実施等の責務が規定されたことを受け本市でも条例制定をするものです。

東松島市内における中小企業小規模企業が地域経済の発展や就業機会の提供等において重要な役割を担っていることからその経営基盤の強化及び健全な発展を促進するため基本事項を定めるものです。

委員長報告は原案可決すべきものと報告され、本会議では全会一致で可決されました。



▲地域経済の発展へ

他議会からの視察来庁

10月4日	茨城県 常総市議会 総務常任委員会	6名	11月9日	大分県 豊後大野市議会 厚生文教常任委員会	6名
10月13日	岐阜県 高山市議会 福祉文教委員会	7名	11月14日	熊本県 益城町議会	15名
10月24日	千葉県 茂原市議会 政明クラブ(会派)	3名	11月14日	熊本県 大津町議会 経済建設常任委員会	5名
10月26日	熊本県 荒尾市議会 建設経済常任委員会	6名	11月15日	大分県 大分市議会 社会民主クラブ(会派)	3名
10月30日	岡山県 岡山市議会 環境消防水道委員会	6名	11月15日	福岡県議会 建築都市委員会	11名
11月6日	京都府議会 府民生活・厚生常任委員会	11名	11月15日	福岡県 川崎町議会 総務常任委員会	3名
11月7日	福岡県 遠賀郡 町議会議長会	3名	11月20日	静岡県 静岡市議会 志政会(会派)	1名

12月定例会可決議案

議案番号	件名と主な内容 ※前ページまでに説明した議案の説明は省略しています。
承認第6号	専決処分した事件（平成29年度東松島市一般会計補正予算（第7号））の承認について …去る10月下旬の台風21号、22号における災害復旧工事について、早急な対応を行う必要があることから専決処分したので、議会に報告し承認を求めたもの。
議案第121号	東松島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について …市三役および議員の期末手当を算出する場合それぞれ給料月額、報酬月額に6月は「100分の155」を「100分の157.5」に、12月は「100分の170」を「100分の172.5」に改正。
議案第122号	東松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について …職員の6月、12月の勤勉手当を算出する場合、勤勉手当基礎額に「100分の85」を「100分の90」に乗じることにするもの。
議案第123号	東松島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について …任期付職員の12月に支給する期末手当は「100分の162.5」を「100分の165」に改正。
議案第124号	東松島市道路占用料等条例の一部を改正する条例について …平成27年度に行われた固定資産税評価額の評価替えに対応して政令が一部改正され、平成29年4月1日から施行されたことを受け改正後の政令別表に準じて所要の改正を行うもの。
議案第125号	東松島市公園条例の一部を改正する条例について …地方公共団体が設置する公園に関する運動施設の敷地面積の割合について、従来の100分の50という基準を十分参酌した上で当該地方公共団体が自ら条例で定めることとなったため改正を行うもの。
議案第126号	東松島市行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例について …政令および道路占用料等条例の改正に準じて、使用料単価の見直しを行うもの。
議案第127号	東松島市公共物管理条例の一部を改正する条例について …政令および道路占用料等条例の改正に準じて、使用料単価の見直しを行うもの。
議案第128号	東松島市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について …地上権等が設定されている土地の受益者に、土地所有者を含める他、賦課対象区域の告示時期の変更、負担金一括納付報奨金の廃止等。
議案第129号	東松島市テレビ共同受信施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について …松島基地の騒音に対してのことで、東日本大震災後、使用不可となったもので、アナログから地上デジタルに変わったため廃止することとしたもの。
議案第130号	(債)平成29年度室浜漁港(23年災第8582号)於着浜2堤防災害復旧工事請負契約の締結について …工事請負契約の締結をしようとするもの。復旧延長は68.1m。
議案第131号	(債)平成29年度室浜漁港(23年災第8583号)大浜山田堤防災害復旧工事(その2)請負契約の締結について …工事請負契約の締結をしようとするもの。復旧延長は115.8m。
議案第132号	(債)平成29年度赤井排水区(雨水排水)下水道雨水調整池工事請負契約の締結について …工事請負契約の締結をしようとするもの。工事の概要は調整池工事で、掘削工26,000㎡、函渠工は、167.3mで平成32年3月16日までの3カ年の工事。
議案第133号	(債)平成27年度赤井排水区外(雨水排水)下水道管渠工事請負変更契約(第3回変更契約)の締結について …主な変更内容は、赤井排水区の発達立坑仮設工において鋼矢板を一部存置へ、五味倉排水区においては鋼矢板の根入れ長さを変更、そして鉄道近接区間は施行工種毎に算出した配置人員へ変更するもの。
議案第134号	(債)平成27年度大曲排水区(雨水排水)下水道雨水調整池工事請負変更契約(第5回変更契約)の締結について …主な変更内容は、市道道下173号線について法面保護の大型土のう撤去の変更と市道切下げ工を追加、構造物工の仮設排水は水中ポンプ排水からウエルポイント工排水へと変更するもの。
議案第135号	(債)平成27年度下街道排水区(雨水排水)下水道管渠工事請負変更契約(第2回変更契約)の締結について …主な変更内容は、推進工法により発生する汚泥を処理する際に自然由来と思われる環境基準を超える砒素が検出されたため、砒素不溶化の追加処理が必要となったもの。
議案第136号	野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る工事等業務委託変更契約(第6回変更契約)の締結について …主な変更内容は、換地処分及び区画整理登記業務等が完了した事による業務委託料の減額。
議案第137号	財産の処分(JR仙石線鉄道用地)について …東日本旅客鉄道(株)へ、JR仙石線鉄道用地(野蒜ヶ丘一丁目17番1外4筆)を売却するもの。
議案第146号	平成29年度浜市小学校災害復旧用地造成工事請負契約の締結について …平成32年度開校の鳴瀬桜華小学校用地造成工事請負契約を締結しようとするもの。工事の概要は、土工、法面工、舗装工、調整池工、水路工、準備工等である。

10月臨時会可決議案

平成29年第6回臨時会を開催し、全議案を全会一致で可決しました。議案の件名と主な内容は下記の通りです。

議案番号	件名と主な内容 ※前ページまでに説明した議案の説明は省略しています。
議案第117号	(債)平成29年度大曲排水区(雨水排水)下水道管渠工事(その2)請負契約の締結について …工事請負契約の締結をしようとするもの。工事の概要は、大曲字道下地内外の管渠工(オープンシールド工法)にて1097.1m施工延長するもの。
議案第118号	平成28年度復興交付金事業東名・新東名橋梁下部工工事請負変更契約(第2回変更契約)の締結について …護岸工の施工において、施工範囲内の既設護岸の河床根入れ部分が破損していることが判明し、法覆護岸工を増工するもの。



▲下水道管渠工事、五味倉排水区(議案第133号)



▲調整池等工事、南区排水機場(議案第132号)



▲被災市街地土地区画整理事業により造成された野蒜ヶ丘

平成29年第4回定例会および第6回臨時会において市長から提案された議案については、本会議や常任委員会で慎重審議し、全議案を全会一致で可決したため、賛否の別れた議案はありませんでした。

賛否が分かれた議案



▲人権週間ポスター

推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦のため

諮問第4号 人権擁護委員 大友佳代氏適任 と答申

平成29年第4回定例会

において、大友佳代氏(小野)の人権擁護委員への推薦につき適任と答申しました。今回、現委員の大友佳代氏が平成30年3月31日で任期満了となることから、人権擁護委員法に基づき、法務大臣に推薦するため、推薦に基づき、法務大臣に推薦のため

ページ	質問者(登壇者)	質問項目
8	五ノ井 惣一郎	①市政執行の分野別事業に問う ②減反政策の廃止に問う
8	熊谷 昌 崇	①コンビニ収納について ②長寿命社会を見据えた働き方について ③市保有施設からの落葉対策について
9	石森 晃 寿	①鳴瀬未来中学校移転に伴う通学路の安全確保について ②専門学校等の設置について
9	上 田 勉	①宮城オルレ「奥松島コース」の今後の整備のあり方について問う ②老朽化している公共施設の整備について
10	大橋 博 之	①矢本パークの活用手法を問う ②東松島ブランドを全国発信せよ ③お結び課の設置を検討せよ
10	長谷川 博	①国保税の引き下げと被災者医療・介護一部負担金免除の継続について ②住民要望・課題の検討について
11	小野 幸 男	①野蒜地区の活性化と諸課題を問う ②教育現場における対応課題について問う
11	阿 部 としゑ	①教育委員会の指導を問う ②婚活事業の充実と新婚生活の応援を
12	齋 藤 徹	①大震災における行方不明者の捜索について ②本市の公共施設、学校関連施設の衛生面について
12	櫻 井 政 文	①世代間交流について ②認知症対策について
13	熱 海 重 徳	①学校施設整備における現場要望対応について
13	小野 恵 章	①災害公営住宅の家賃低減の延長ほか課題について ②学童保育と学力向上対策について
14	土 井 光 正	①デマンドタクシー「らくらく号」の利用拡大を図れ ②集団移転元地未利用地の維持管理を的確にすすめよ ③通学路の安全対策について
14	手代木 せつ子	①市有地の今後の利用について ②新興住宅地の住所表示について ③公園整備について問う
15	滝 健 一	①豪雨被害の備えを万全に
15	佐 藤 富 夫	①震災買い取り元地の利活用を問う ②本市の観光政策を問う

16議員が 市政をただす

一般質問は、議員が本市の一般事務に関する質問を行ったり、政策提言を行うことなどを言います。議論の様子は録画中継でもご覧になれます。

議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索 

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>



熊谷 昌崇 議員

- 1、コンビニ収納について
- 2、長寿命社会を見据えた働き方について
- 3、市保有施設からの落葉対策について



▲特定防衛施設周辺整備交付金増額を（松島基地正門）



五ノ井惣一郎 議員

- 1、市政執行の分野別事業に問う
- 2、減反政策の廃止に問う

Q 市政執行の分野別に問う

A 公約実現に事業施策を図る

Q ①国際的な防災につながる視察、

研修の受け入れは②(イ)集団移転等の自主防災組織づくりは(ロ)消防団の育成強化は③18歳までの医療費無償化、保育施設、放課後児童クラブの充実などは④仮設住宅の集約の状況と見通しは⑤特定防衛施設周辺整備交付金の大幅な削減の財源確保は

A 市長 ①海外から20回、39か国から復興、防災、産業、住民自治会等をテーマとして実施している。

②(イ)79組織で100%、(ロ)装備強化、組織見直し、消火力向上に努める。

③平成29年度からは15歳〜18歳まで拡大して実施する、平成30年4月に私立認可保育園を開園する

学童クラブは今後校内、もしくは隣接へ建設する。④9世帯であったが、仮設間移動で全ての世帯から承諾をいただき来年度夏頃までに完了する予定。

⑤松島基地との共存共栄の中、幾度となく陳情要望を行い交付金の確実な確保に粘り強く努める。

Q コンビニ収納について

A 平成31年度に導入予定

Q 6月議会で市税の納付方法について質問し、検討していくという回答を得たが、11月23日付の石巻かほくで石巻市の市税収入率右上がりとこの一面記事が載った。

記事によると、平成15年に納税環境を改善しようとして、市民税と固定資産税のコンビニ収納を開

始。コンビニ取扱件数は3割を超え、口座引き落としを上回り、窓口利用は年々減少傾向にあるとの事であるが、6月議会の時は「市内部で検討中」や「経費がかかるので」の答弁をいただいたが、最後には「進めたい」との答弁を得た。本市での導入の進捗状況はいかに。

A 市長 コンビニ収納については、第2回定例会において、導入費用や費用対効果の問題があり、検討中と答弁をしたが、世間の動向が把握できたため、今後、軽自動車税、市民税、固定資産税、国民健康保険税の4税について、平成31年度導入を目標に準備を進めている。

況はいかに。

況はいかに。

況はいかに。



▲コンビニ収納



上田 勉 議員

- 1、宮城オルレ「奥松島コース」の今後の整備のあり方について問う
- 2、老朽化している公共施設の整備について

A 市長 宮城オルレは、韓国版トレッキングコース「オルレ」の認定を受け、地域の食や歴史、文化などに触れ、

今後、野蒜地区のインフラ整備を見据え、野蒜駅を起点とし、東日本大震災復興祈念公園や東名運河、野蒜海岸も視野に入れ、現コースの整備や通訳、観光ボランティア、

職員への体制整備も計画的に進め、誘客効果の高いコースの設定を検討する。野蒜小学校跡地の体験型宿泊施設、松島自然の家、野蒜地区に民間活力により宿泊施設の設置を進め、観光客の滞在を促す受け入れ環境整備の充実を目指す。



▲宮戸コースの整備は、市全体の誘客も考えての取り組みが必要

Q 宮城オルレの拠点整備を万全に受け入れ環境整備の充実を図る

Q 経路の整備や野蒜地区の震災遺構、旧野蒜小学校跡地、青年自然の家の利用、民宿に加えホテルの誘致活動等その方向性について問う。

回遊するもの。「あおみな」を拠点とし、新宮戸八景の一部を組入れ10キロコースを設定する。

職員への体制整備も計画的に進め、誘客効果の高いコースの設定を検討する。野蒜小学校跡地の体験型宿泊施設、松島自然の家、野蒜地区に民間活力により宿泊施設の設置を進め、観光客の滞在を促す受け入れ環境整備の充実を目指す。



▲今後の跡地利用が考えられる鳴瀬未来中学校敷地



石森 晃寿 議員

- 1、鳴瀬未来中学校移転に伴う通学路の安全確保について
- 2、専門学校等の設置について

Q 専門学校等の設置について
A 私立高校等の設置について検討

Q 石巻管内には、専門学校等が少ないので、仙台市まで、通学しているのが現状だ。先日、東松島市と学校法人タイケン学園との連携協定で保育園の設置が決定した。専門学校等の設置を当学園にお願いして教育環境の整備を図っては、いかがか。設置場所は、鳴瀬未来中学校、鳴瀬

A 市長 タイケン学園は、全国各地で保育園を始め専門学校、高等学校、大学等を設置しており、その生徒の中にはオリンピックで活躍している選手も所属している。

鳴瀬未来中学校と鳴瀬桜華小学校の今後の跡地の活用方法については、地元の方々の意見や寄贈していただいた富田家様の意向などを考慮し、高いハードルではあるが、私立高等学校や専門学校等で跡地利用できないか検討しているところである。



長谷川 博 議員

- 1、国保税の引き下げと被災者医療・介護一部負担金免除の継続について
- 2、住民要望・課題の検討について

Q 市民要望への検討を求めて来た。
 ①従前5月に支給していた就学援助費の入学準備金を前倒しして年度内の3月に支給すべき。国の通達で支給額は倍増している。②障がい者の福祉タクシー券だが、交付対象者の中にはガソリン券の助成が望ましいとする方もいる。決算によれば

A タクシー券の利用率は約50%前後で、見直しが必要だ。③災害公営住宅の玄関ドアの防風対策を。強風時ドアが開かない、子供が腕をはさまれるなどの問題を訴えている。
Q 教育長 ①県から10月に前倒し分の補助通知あり。中学入学時に負担が大きくなること、前倒し支給の審査で

A 世帯状況が把握できていることなどを考慮し、現小学6年生を対象に実施する。小学校入学時の前倒し支給は次年度から実施する。
Q 市長 ②タクシー券とガソリン券の選択制で新年度から実施。③団地全体の対策は困難。個別にドアクローザーでの対応を周知する。



▲前倒し支給により、文字通り入学準備に活用できます



▲今後の活用手法が検討されている矢本パーキング



大橋 博之 議員

- 1、矢本パーキングの活用手法を問う
- 2、東松島ブランドを全国発信せよ
- 3、お結び課の設置を検討せよ

Q 矢本パーキングの活用については旧矢本町時代より現在まで多くの議論を重ねてきた。しかし、有効な活用法が見いだせずに現在に至っている。サービスエリアへの昇格を目指しての可能性調査を実施しその結果も報告されている。今後の活用法について伺う。①サービスエ

A 市長 矢本パーキングエリアのサービスエリアへの昇格整備については非常に難しい状況と考えている。①活用できる補助事業も厳しい

リアの建設についての財源の確保と国交省の許認可の見直し②盛土材確保事業の今後の活用③パーキングと一般道との接続の可能性について。
 ①状況であり許認可等もハードルが高い②一時的な避難場所という防災を軸に将来的には地域振興施設を想定したもので集客機能として飲食や物販が可能な施設を考えている③矢本パーキングとの連結路線である市道百合子線の整備を継続実行し三陸道と連結できるように国交省へ要望中。

Q 矢本パーキングの活用を問う

A 活用を目指し努力する



阿部としる 議員

- 1、教育委員会の指導を問う
- 2、婚活事業の充実と新婚生活の応援を

Q ①福井県の中2の男子生徒の自殺を受け、子どもたちに先方に対し困り事や不満の調査を行ったか。
②生まれつき茶色い髪やくせ毛の生徒への指導は、部活動でいき過ぎた指導等はないか。
③他の学校行事や交流と学び研修会等に参加して学ぶことも大切であるが

Q 教育委員会の指導を問う
A 実態を把握し指導する

④各学校で保護者と連携する。
⑤各学校で保護者と連携する。
A 教育長 ①学校生活全般における悩み等のアンケートを実施し実態把握はなされている。
②各学校で保護者と連携

③けがの防止と健康観察の徹底、体罰の禁止。
④他の学校行事、研修会等に参加することは良さを見いだし教育活動に役立つ。学校間の交流が図られるよう努める。
⑤平成30年度中に全てで導入する。推進を図る。
⑥警察の指導のもと自己防衛能力を高める指導。



▲授業中活発に答える子どもたち



▲野蒜地区の核となる、駅前広場のにぎわいが期待される



小野 幸男 議員

- 1、野蒜地区の活性化と諸課題を問う
- 2、教育現場における対応課題について伺う

Q 野蒜地区の活性化と課題を問う
A にぎわい創出で活性化を推進する
①野蒜駅周辺と観光物産センター活性化のカキ焼イベントとトイレ設置について。
②野蒜駅を拠点とした観光ルートの足の確保は。
③野蒜ヶ丘一丁目の集会所整備と南北通路の避難場所と指定すべきでは。
④新東名3〜4丁目の堆積した土砂撤去について。
⑤野蒜ヶ丘全体の外路灯

の設置の不均衡と防犯カメラの設置計画を伺う。
A 市長 ①主体的なイベントのほか、奥松島公社の自主事業の取り組みと、にぎわい創出による活性化を推進する。
②東松島市地域公共交通再編実施計画を基に、官民連携等の公共交通を検討する。

③まちづくり活動の拠点施設として、野蒜市民センターを大いに活用していただく。
④周辺の状況変化により幹線排水路に土砂の堆積については、再度現地確認をし判断する。
⑤地元の要望を現地確認し、市の設置基準に合わせ対応し、カメラは合計2基設置する。



櫻井 政文 議員

- 1、世代間交流について
- 2、認知症対策について

Q ① 少子高齢化が叫ばれている中で世代間交流は重要だ。各世代間の交流が地域を元気にしてくれる。世代間交流を推進するための環境整備とその拠点になりうる「こども食堂」を開設する考えはあるか。

② 人生百歳時代を迎え、認知症対策は急務である。予防の普及や、早期発見

A ① 重点をおいた施策を実施してほしい。また、若年性認知症の対応策、さらに家族の介護負担、徘徊などの社会問題に対するの策を問う。

A 市長・教育長 ① 世代間交流は非常に重要だと認識している。取組が可能なものは進めていきたい。「こども食堂」については今後

の検討課題としたい。

② 昨年度は地域包括支援センターにおいて、若年性認知症の方を対象とした実態調査を実施した。また、平成30年4月に認知症初期集中支援チームを市に設置する予定にしている。

今後とも認知症があっても安心して暮らせる市をつくっていきたい。



▲全国に広がるこども食堂

Q 世代間交流と認知症対策は

A 非常に大事な部分ととらえている



▲行方不明者の搜索風景



齋藤 徹 議員

- 1、大震災における行方不明者の搜索について
- 2、本市の公共施設、学校関連施設の衛生面について

Q 大震災行方不明者の搜索について

A 市職員の搜索参加も鋭意検討

Q ① 搜索場所の選定方法は妥当か。

② 搜索にかかわる消防団員装備の妥当性と手法について。

③ 市の搜索に対する姿勢について。

A 市長 ① 消防団、消防署、警察署と合同で、年2回海岸線にて実施している。

② 団員装備については、

積載車に装備されているトビ口、団員持参のレッキを主たる装備としている。また、団員の安全対策として、救命胴衣の着用、各責任者にトランシーバーの携行を指示している。

搜索の方法は目視を基本とする。

③ 搜索活動は、消防団に主体となっていたが実

施している。3、4年、手掛かりや、成果が無いのが実状。

今後は、搜索場所の絞り込みや手法の改善、搜索態勢の見直し等を消防団や関係機関と協議検討していきたい。

市としての取り組みも、市幹部を中心に、搜索への参加についても鋭意検討していく。



小野 恵章 議員

- 1、災害公営住宅の家賃低減の延長ほか課題について
- 2、学童保育と学力向上対策について

A

市長 ①東日本大震災特別家賃低減

Q ①災害公営住宅の家賃低減延長ほか課題について
 ②学童保育施設を利用した学習支援についての本市独自の施策の考え、施設管理やコミュニケーション導入における学習支援システム構築の考えについて

A 可否総合的に判断

Q 災害公営住宅家賃低減延長は

事業は、6年目以降段階的に引き上げになる。被災自治体独自の減免は、可能と国から通知されている。市財政への影響などを考慮し、前向きに延長の可否を判断したい。

国が、低減延長し財源を補うのが本来の姿であり、国に対して実施を求めていく。

A

教育長 ②独自の施策については、

福祉課、教育委員会と連携を図りながら放課後子ども教室や、学習支援事業の実施を含め検討する。管理は、学校と別になるが連携を図り、児童を安心して任せていただけの体制整備を図る。地域の特色を生かした学習支援システム構築を検討する。



▲矢本東小学校グラウンド



熱海 重徳 議員

- 1、学校施設整備における現場要望対応について

Q 学校施設整備における現場要望対応について

A 大規模改修で順次対応していく

Q 復興により小中学校の新設、計画が進められてきたが、現場からはまだ修繕など多くの要望が寄せられており、それらの対応について伺う。

A 市長 学校行事や航空祭駐車場として利用可能か検討した際に校庭整備状況については把握している。被災した市内の学校整備のバランスからしても、矢本東小学校、大曲小学校など旧矢本地区の校庭整備は順次対応していく。また冷暖房設置など現場からの強い要望に対しては、大規模改修を含め計画を見直し、可能な限り対応していきたい。

A 教育長 現場要望については、小中学校から随時修繕依頼書に写真を添付して提出いただいている。今後は緊急性や危険性などを総合的に判断し、優先順位を決めながら速やかに対応していく。また大規模改修の年次計画など修繕計画が現場と共有できるように連携を図っていく。



▲家賃低減の延長を



手代木せつ子 議員

- 1、市有地の今後の利用について
- 2、新興住宅地の住所表示について
- 3、公園整備について問う



▲危険な通学路（左：大曲地区・右：小松地区）

Q 陸前小野駅前、国道45号南側は東日本大震災後、住宅が急増している。少子高齢化、新しいまちづくりに向け、次の2点を伺う。

① 同地番には既に30戸の災害公営住宅が完成し居住済であるが、残った仮設住宅を撤去後の跡地利用はどう考えているか。

② 東日本大震災後、人口

Q 小野駅前仮設撤去後の跡地利用は

A 施設整備の方針も含めて検討

Q 陸前小野駅前、国道45号南側は東日本大震災後、住宅が急増している。少子高齢化、新しいまちづくりに向け、次の2点を伺う。

① 同地番には既に30戸の災害公営住宅が完成し居住済であるが、残った仮設住宅を撤去後の跡地利用はどう考えているか。

② 東日本大震災後、人口

A 市長 ① 現存の小野駅前仮設住宅は今年度末までには解体が完了予定である。跡地利用については計画にあった災害公営住宅としての土地利用はせず、他の有効活用方法の検討を考える。

② 集会施設は、1地区1

施設を基本と考えている。往還地区には既に往還地区センターと小野駅前東集会所の二つの拠点があるが住民の利便性や国道により分断されている地理的状况等も考慮し、施設整備の方針も含め検討するが、当面は現有施設を地域内でおおいに有効活用していただきたい。



土井 光正 議員

- 1、デマンドタクシー「らくらく号」の利用拡大を図れ
- 2、集団移転元地未利用地の維持管理を的確にすすめよ
- 3、通学路の安全対策について

Q 通学路の安全対策を急げ

A 歩車識別対策も含め検討する

Q ① デマンドタクシーの認知度を上げ、乗車規制を緩和し、サービス向上による利用拡大を図れ。

② 集団移転元地の未利用地の効率的な除草管理および鳴瀬東名地区の排水対策のインフラ整備で地域基盤の復興を進めよ。

③ 通学路の安全確保の対策として水路への蓋がけ

等の設置で新たな歩道空間の確保や大曲小学校西門から国道までの歩車識別対策を検討せよ。

A 市長 ① 荷物の持ち込み制限を撤廃

する。また、規制緩和については、実態を把握しながら実現できるような検討する。

② 未利用地は将来にわたり、除草等の管理を行っ

ていく。東名地域の排水対策は漁業集落防災機能強化事業により、排水機場を新たに設ける。

③ 歩道整備は、整備手法や財源も含め総合的に検討して行く。歩車識別対策は、車両及び歩行者等の通行帯が視認できることから有効であり自治会と合意形成を図りながら実現に向け検討する。



▲解体中の小野駅前応急仮設住宅



佐藤 富夫 議員

- 1、震災買い取り元地の利活用を問う
- 2、本市の観光政策を問う

①有償無償での貸付地が虫食い状態にあり、土地の有効活用の障害となるおそれがある。活用計画により、体系的な有効活用を提言する。

一部に農業法人が営業しているが、東松島市国土利用計画および特別名

Q

大曲浜地区以外の元地は荒地同様の状況。日本三景の一角として見苦しい。

A 提言どおり利活用の推進をする

Q 震災買い取り元地の利活用を問う

土地の保全と有効利用を図るように提言する。

②荒地、雑草対策として、動物を飼育することも一策。観光牧場を誘致し、食と観光など一石二鳥の相乗効果が期待される。検討してみてもどうか。

A 市長 ①については

は議員の危惧するとおりである。

勝グラウンドデザインと位置付け対応をする。②については、固有の自然、歴史、文化資源あるいは、新たな観光、交流を誘導する土地利用を検討し、農業系、エネルギー系用地として活用を進めるとともに、議員提言の観光牧場についても考えてみたい。



▲小野歩道橋から見た鳴瀬川堤防

- 1、豪雨被害の備えを万全に



滝 健一 議員

Q 豪雨被害の備えを万全にせよ

A 更なる避難誘導策を構築する

Q ①排水路の正常機能の維持。②豪

雨時の危険個所の把握状況と本市の対処の仕方。③洪水についても防災関連事業に取り上げるべき。④子供や災害弱者の避難誘導策。⑤防災マップの修正版を作成すべき。

A

市長 ①雨期前のパトロールや自治会等の要請で清掃をして

いる。

②市内約270カ所の土砂災害危険箇所と洪水浸水想定区域を把握している。状況により記録的短時間大雨情報発表前でも避難勧告等を発表する。③地震津波に限定されない防災意識の向上に向け、今後も啓発に努める。④地域の防災関係者が情報を共有しているので、

A

教育長 ④学校等の避難誘導は、常に体制を整えている。防災マニュアルに基づくもので、今後一層、安全な避難誘導を構築してゆく。



▲荒地放置は条例違反、早急に対策を

総務常任委員会 行政視察報告

総務常任委員会の行政視察を11月6日から8日にかけてデマンドバスについて兵庫県神戸市と猪名川町に伺い研修してきました。東松島市における課題として、デマンドバス（らくらく号）の利便性及びコストの問題がある。市民からは安い料金で呼んだらすぐに車輛が来てほしいという要望があるが、実際問題、市内のタクシー会社に委託しているため、民業圧



▲神戸市行政視察の様子

迫をしてはならないというジレンマを抱えている。そこで、大きな震災に見舞われた後に地域の足として運行をしている神戸市に伺い、神戸市の中でも、やや東松島市に似ている状況の地域である垂水地区のコミュニティ交通について視察調査を行った。地域コミュニティ交通の導入のきっかけは、商業施設や病院までの交通手段が無い、高齢化により自動車の運転が困難というように、東松島市に限らず、全国一律に問題は同じであった。ただし神戸市は利用促進のために大型商業施設に協力してもらい、利用促進券を大型商業施設に購入してもらい、その施設で3,000円以上購入した客に1000円の利用促進券を配布している。また、猪名川町の取組は、29人乗りのバス2台で運行し、車イスの人のための

のバリアフリー使用であり、これからのさらなる超高齢化社会に対応している。これらの取組を東松島市も参考にすべきであると思われる。



▲猪名川町行政視察の様子

総務常任委員会

委員長 熊谷 昌崇
副委員長 五ノ井惣一郎
委員 石森 晃寿
委員 土井 光正
委員 小野 幸男

民生教育常任委員会 行政視察報告

本年度取り組むべき所管事務調査として、5月以降福祉関連計画・教育関連計画を内部調査した。その結果子育て支援の総合的提供と環境づくりが市政の課題となっていくことから次の自治体事例について調査した。

① 子育て支援事業および子育て世帯外出支援補助金

地域のニーズの疎密はあるが待機児童はない。人口増に伴い多目的視察が必要である。福祉事業との連携が必要になっている。

② 孫育てガイドブック

県の事業で作成したものであり、親世代、孫、子との関係性を良好にする上で貴重なガイドブックである。

▲愛知県瀬戸市▼

①せとつこモアスクールおよび放課後児童クラブ
各学校の空き教室を利用

② 保育園の民営化
公営施設を一定に保ちながら、小学校ゼロ年生教育や各年の保育手法を充実しており、小学校区に一つずつ整備するとしている。



▲土岐市議会（議場にて撮影）

用して安全な遊び場の確保及び生活の場を主眼とし、学童の見守り、保育の延長の両面を持つ。視点とした「学力向上策」にはつながっていないかった。

施設は狭隘（せまわ）であったが子供たちは楽しく過ごしており、NPO法人・ボランティア活動が協力しての運営が身を結んでいた。



▲行政視察とあわせて瀬戸市長を表敬訪問し、震災復興支援に対して御礼

民生教育常任委員会

委員長 上田 勉
副委員長 小野 惠章
委員 手代木せつ子
委員 佐藤 富夫
委員 長谷川 博

産業建設常任委員会 行政視察報告

産業建設常任委員会は「観光ビジョン」「企業誘致について」所管事務調査のテーマ2点について行政視察を実施しました。岩手県二戸市「へのブランド海外発信事業について」国産漆の約70%を生産している日本一の漆の産地であり南部杜氏の技法を用いて作られた地



▲二戸市、現地視察を実施

酒「南部美人」が有名だが、二戸ブランドの魅力のPRが不足していた。打開策として海外でのトップセールスを3年間の継続事業とした。海外でのレセプション、セミナーを積極的に開催した結果、国内外の評価が向上した。今後さらなる漆文化を世界に発信し新規需要の発掘につなげたい。

北海道函館市 調査項目
 (1)外国人観光客の誘致に向けたプロモーションの推進について
 (2)受け入れ体制の取り組み
 (3)函館市地域交流まちづくりセンターの3点について調査した。要望PRを行うトッププロモーションを軸に知名度の向上のための各種の取り組みを多角的かつ積極的に官民一体となったプロモーション活動を推進している。

岩手県北上市(1)企画誘致について(2)ニューターリズム推進や受け入れ態勢



▲北上市行政視察の様子

推進についての2点です。新幹線高速道路等の交通網に恵まれ10カ所の工業団地を有している。企業誘致のポイントは「誠意をもって根気よく」とトップセールスである。今後は「技術の高度化・イノベーション」を推進し企業フォロアアップ日本一を目指す。

産業建設常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大橋 博之 |
| 副委員長 | 熱海 重徳 |
| 委員 | 齋藤 徹 |
| 委員 | 阿部としる |
| 委員 | 櫻井 政文 |
| 委員 | 滝 健一 |

広報常任委員会 行政視察報告

広報常任委員会は、11月20～22日にわたり北陸の石川県加賀市（議会活性化と広報広聴事業）と長野県軽井沢町の（広報広聴事業の市民参加）についてを視察しました。

○加賀市

各議員、委員が地域のテーマを策定し報告会を開催している。市民の感想や議会に対する意見を「読者の声」として紹



▲加賀市議会行政視察の様子

介したり、地元高校生が企画し6つのグループに分かれ、議会では考えないような若者の視点観点からの意見も出され、温かい対応に心がけ高校生にも政治に関心を深めている。また、政策提案の手法として大学との連携は、予算もかからず本市にとっても一考を要する取り組みでもある。

○軽井沢町

平成20年10月から報告を実施する。軽井沢町は人口2万人弱の町に、観光客が年間800万人もの交流人口があり、町の環境も都会的部分を醸し出している独特の自治体である。平成22年3月に「議会とまちづくりを語る会」に変更し、議会活動を広報するためあらゆる媒体を利用しながら、モニターは各年代から男女半数ずつで任期1年としモニター懇談会を年1回開催し謝礼としては

年5、000円とする。議会だよりでは町民の意見を反映した対話型広報を目指し、紙面作りには議員自ら写真、割付、レイアウト、デザインまで編集作業に当り、市民の声を真摯に聞いて議会改革を推進する。



▲軽井沢町議会行政視察の様子

広報常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 小野 幸男 |
| 副委員長 | 櫻井 政文 |
| 委員 | 上田 勉 |
| 委員 | 手代木せつ子 |
| 委員 | 熱海 重徳 |
| 委員 | 大橋 博之 |
| 委員 | 熊谷 昌崇 |

議会懇談会を実施しました

改選後初となる議会懇談会を平成29年11月18日（土）午後6時30分から、矢本西市民センター、大曲市民センター、野蒜市民センターの3カ所において行いました。

3会場合わせ35人の皆さんが参加してくださいました。

各会場では市政に関すること、議会に関すること数多くの意見や要望が出されました。

要望や意見の内容によっては歯切れの悪い回答となりましたが、各会場で回答しましたように、議会各常任委員会で対処すべきもの、執行部に対し市政の課題として伝えるもの、各議員が議員活動や政治活動の中で対処すべきものがありますが議会に対する要望・意見については、議会としての早い対応に心がけていきたいと思えます。

また、各市民センターでの意見・要望等の概要については、表のとおりですが意見等に対する各種措置については、市政に関することは、議長に報告し関係部課にお伝えいたしますし、議会に関する事項については、担当したグループが責任をもって対処いたします。

矢本西市民センター	参加議員	小野恵章、熊谷昌崇、櫻井政文、長谷川 博、上田 勉		
	参加市民	6人		
		要 望 意 見 等	回 答 状 況	
市政に関すること	①市の財政状況について	企業誘致や観光振興等で収入増を図る。		
	②矢本西市民センター周辺の側溝管理について	市に要望済みということなので産業建設常任委員会で確認後回答する。		
	③地盤沈下による排水の影響や排水計画における改善されるものについて市の説明を求める			
議会に関すること	①改選後の議会の雰囲気と新人議員の活動状況について	行政課題は是々非々、新人教育は各会派で実施している。		
	②今後の議会改革について	特別委員会を設置し、1年以内に基本条例および定数・報酬・倫理規定などの見直しを行う。		
	③若い人が選挙に出やすくするための方策について	落選のリスクや収入面のことを考えると立候補しづらい。特別委員会で検討する。		
大曲市民センター	参加議員	佐藤富夫、阿部としゑ、五ノ井惣一郎、土井光正、齋藤 徹		
	参加市民	12人		
			要 望 意 見 等	回 答 状 況
	市政に関すること	①災害公営住宅入居者の生活困窮者への支援について	市長の住民懇談会で確認してほしい。	
		②津波等の緊急避難場所を整備してほしい		
		③いじめ対策の現状と対策について	常任委員会・教育委員会で調査している。結果について回答。	
		④企業誘致について	結果が出ているとは聞いていない。	
		⑤定川のジョギングコース整備および貝田公園に桜の植樹を	提案として受け止める。	
		⑥指定管理のあり方について	執行部に伝える。	
		⑦矢本運動公園を早く運動場に戻してほしい	執行部に伝える。	
議会に関すること	①懇談会について（参加者が少ない）	方策についてさまざま考える。		
	②宿泊施設についてどう考えるか	産業建設常任委員会での調査内容を回答。野蒜ヶ丘に新たにホテルが建設される。		



▲矢本西市民センター



▲大曲市民センター



▲野蒜市民センター

野蒜市民センター	参加議員	小野幸男、大橋博之、滝 健一、石森晃寿、手代木せつ子	
	参加市民	17人	
		要 望 意 見 等	回 答 状 況
	市政に 関すること	①仮設住宅の状況について	83戸まで減少した。
		②野蒜ヶ丘の空き区画について	確認後報告。
		③下水道料金の値上げについて	今年度 50 円/m ³ 値上げする。平成 32 年度に赤字が解消する。
		④野蒜駅周辺のトイレ整備について	執行部に申し入れる。
		⑤新東名の側溝整備について	執行部に申し入れる。
		⑥コミュニティ・スクールについて	調査後報告する。
		⑦上下水道と下水道料金の未納について	法律の改正が必要であり、国に働きかける。
		⑧奥松島の観光について	宮城オルレの利活用が望まれる。
		⑨宮戸地区の水田の復旧はあるのか	県の整備計画により再開する。
		⑩野蒜ヶ丘の街灯が少ない	調査し回答する。
⑪未来中通学路の安全対策について		国と協議している。	
⑫鳴瀬川の堆砂について		国交省が定期的に見守っている。	

なお、当日のアンケートの概要は、次の通りです。

- 1 来場数およびアンケート数
来場数 35 人
アンケート数 31(矢本西 5 人、大曲 9 人、野蒜 17 人)
- 2 年齢等
40～50 代が 8 人
60 代以上が 21 人
無回答が 2 人 (男性 26 人、女性 5 人)
- 3 議会懇談会への期待
議会活動状況、意見交換、市の事業への要望
- 4 報告内容
解りやすかった 62%
どちらともいえない 20%
- 5 議会懇談会の会場数
市内 3 カ所 20%
市内 8 カ所 42%

また、自由意見をいただきましたものうち、テーマについてお聞きしました。

- 1 議会改革等内部的なもの
- 2 議会の役割の基本
- 3 地域の現状と課題
- 4 コミュニティスクールの運営、地域と学校との話
- 5 少子高齢化対策
- 6 交流人口の復興、震災の伝承
- 7 将来的なビジョン
- 8 地域コミュニティ活性化の方策
- 9 各地域に特化した議会活動の現状

皆さんの意見を議会活動等に反映させるべく活動してまいります。今後も報告会等、議会活動にご協力よろしくお願い致します。

友好都市 大田区(東京都)との議員交流事業

10月15日～16日まで、阿部議長と産業建設常任委員会委員6名は、友好都市大田区を訪問し、議員交流事業を行った。その内容は①蒲田駅前広場で東松島産品販売支援②大田観光情報コーナー見学③おたのしみ観光展 2017 見学④物流ターミナル羽田クローゲート見学⑤大田区議会議員との懇談会⑥産業連携支援施設視察⑦大田区立障がい者総合サポートセンターさぼーとびあ見学⑧大田区議会本会議傍聴⑨大田区役所内ペーパラボ見学と盛りだくさんであった。

この交流事業に参加しての感想は、優れた立地環境を活かした大田区のものづくりのこだわりや姿勢に感銘を受けた事、また、特区を活用した観光戦略に学ぶ所があったことである。

大田区議会議員との交流を今後さらに密にし、東松島市の産品を首都圏という巨大マーケットでいかに流通させるかという課題をクリアするヒントを得たいと考えている。

友好都市 東松山市との交流事業

11月3、4日の2日間議員派遣における民生教育常任委員会委員による交流事業を実施した。

初日、東松山市の市を挙げてのスリーデーマーチが開催されており、多くの参加者で賑わう中、震災後、多くの支援を頂いてきた東松山市であるが、特に現在放課後児童クラブ施設等に使用されているプレハブの支援を頂いたボッシュ社の会場ブースを訪ねての表敬を行なった。また、東松山市役所において東松山市議会との意見交換では、本市委員より震災の対応、復興の現状や課題が述べられ、それに対して多くのものを学ぼうとする東松山市議員の熱い思いが感じられた。

翌日、5kmウォーキングのイベントに参加、東松山市の一大観光イベントを肌で感じるとともに、本市PRのため汗を流す本市の海産物販売ブースや大曲浜獅子舞の民間交流事業における市民の皆様の頑張る姿に、改めて敬服し民間交流の大切さを感じるものであった。



▲スリーデーマーチに参加(5km)

議会運営および活動状況 平成29年9月11日以降

9月11日	議会運営委員会	鳴瀬桜華小学校学芸会
9月13日	総務常任委員会	鳴瀬未来中学校文化祭
	産業建設常任委員会	10月22日 全国市議会議長会基地協議会東北部会 役員会および第25回定期総会
	広報常任委員会	10月23日 全国市議会議長会基地協議会東北部会 役員会および第25回定期総会
9月14日	民生教育常任委員会	10月24日 産業建設常任委員会
9月15日	財務常任委員会	10月25日 平成29年度東松島市なかよし音楽会
9月16日	あおい地区敬老会	平成29年度第1回防災研修会
9月17日	松島医療生活協同組合平成29年度健康まつり	10月26日 全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会
9月21日	平成29年度秋の交通安全運動に伴う出動式	矢本第一中学校文化祭
	民生教育常任委員会	客船「飛鳥II」入港歓迎式典
	産業建設常任委員会	10月27日 石巻広域圏商工会議所 3首長と経済団体との意見交換会
	財務常任委員会	10月28日 最上川さくら回廊事業植樹式典
9月22日	議会運営委員会	矢本第二中学校文化祭
9月23日	矢本はなぶさ幼稚園運動会	東松島高校文化祭
9月25日	総務常任委員会	10月29日 2017東松島市ライオンズ旗争奪U-10フットサル大会
9月26日	民生教育常任委員会	10月31日 松島基地航空祭感謝状交付式
9月27日	産業建設常任委員会	11月1日 総務常任委員会
	財務常任委員会	民生教育常任委員会
9月29日	議会運営委員会	11月2日 矢本西小学校開校記念式典
	産業建設常任委員会	11月3日 第25回東北私立高等学校女子選抜ソフトボール大会兼
9月30日	矢本中央幼稚園運動会	第63回全国私立高等学校女子選抜
	野蒜ヶ丘各丁目自治会設立総会	ソフトボール大会東北予選会
	第16回港湾感謝祭開会式	11月4日 O T A ふれあいフェスタ友好セレモニー
	鳴瀬幼稚園運動会	11月5日 小野地域ふるさと愛あいまつり
10月4日	三陸縦貫自動車道・アクセス道路の整備促進と道路整備予算	東日本大震災復興記念公園完成式典
	の確保に関する要望会	上下堤そばまつり
10月5日	いさぎ百歳体操交流会	11月6日 東松島市大曲地区体育館落成式
	東松島市火葬場新築工事安全祈願祭	鳴瀬川水系改修工事促進期成同盟会役員会および意見交換会
10月6日	広報常任委員会	11月11日 矢本中央幼稚園おゆうぎ会
10月7日	矢本東小学校運動会	11月13日 全国市議会議長会基地協議会第89回理事会
	赤井南小学校運動会	11月15日 第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路
	宮野森小学校学芸会	11月17日 民生教育委員会
	ぎんの星 きのこ祭り	議会運営委員会
10月8日	第6回東松島市長杯地域交流パークゴルフ大会	11月18日 市政功労者表彰式
	第6回石巻地区少年剣道錬成大会	11月22日 第50回宮城県市議会議長会 議員研修会
10月9日	第46回若鷹旗争奪少年野球大会	11月24日 航空自衛隊中部航空音楽隊東松島演奏会
	第12回東松島市長杯争奪男子ソフトボール大会	産業建設常任委員会
10月11日	議会運営委員会	11月25日 あすなろ発表会
10月12日	全国市議会議長会基地協議会東北部会 役員会	11月26日 第50回記念 東松島市クロスカントリー大会
10月14日	平成29年度第二管区海上保安本部展示総会訓練	矢本西コミュニティ協議会サルビア植栽事業の反省会
	赤井小学校学習発表会	11月29日 総務常任委員会
	まるごと大曲ふれあいまつり	11月30日 平成27・28・29年度宮城県教育委員会指定学力向上
10月15日	野蒜ヶ丘まらびらきまつり	研究指定校事業公開研究会
10月17日	宮城県市議会議長会秋季定期総会	12月1日 広報常任委員会
	財務常任委員会	議会運営委員会
	広報常任委員会	12月2日 吉田川床上浸水対策事業着工式
10月20日	全国市議会議長会基地協議会 正副会長・監事・相談役会	赤井南小学校学習発表会
10月21日	第12回ひがしまつしま市民文化祭開会セレモニー	鳴瀬幼稚園 クリスマスお祝い会
	大塩小学校文化祭	第6回東松島市観光と物産のPR会×カキ祭り
	矢本西小学校学習発表会	第22回ヤックンカップ争奪家庭バレーボール大会
		第7回東松島市児童・生徒書道展(デンマーク王国友好記念) 表彰式

傍聴者 インタビュー

第4回東松島市議会定例会の感想



松本 新一さん (上河戸)

私は初めて「市議会」を傍聴しました。
 議員各位の質問テーマは 1. 産業の創出、活性化 2. 婚活・結婚→子育て→教育の充実 3. 健康寿命、認知症予防・介護 等々多岐にわたっていました。各位の知見や調査に基づき、鋭く、時には軽妙に答弁者である市長、教育長ならびに市行政幹部に質問し、真剣な質疑応答のさまに感心しました。
 答弁は、主に市長が市政の人・物・財源・安全/安心 の観点から、優先付けを行い 1. 来年度の実施 2. 検討継続事項 3. 将来の課題等に区分して回答していました。
 市議会での質疑応答を踏まえ、より良い市政にまい進することを期待いたします。
 市長ならびに議員各位の考え方、具体的活動が身近に感じられ一市民として、有意義な時間を持てたことに感謝します。

編集後記

新年おめでとうござい
 ます。本年も「市議会
 だより」を通して、市民
 の皆様に議会活動をわか
 りやすくお伝えするよう
 努めますので、何卒、よ
 りしくお願い申し上げま
 す。

さて、広報常任委員会
 では議会改革に先進的な
 取り組みをしている市町
 村の行政視察を積極的に
 行っています。そして、
 その議会関係者の報告
 とその後の活発な質疑の
 中で当市でも取り入れ可
 能なものは実現に向けて
 委員間で議論をしていま
 す。
 戊年には勤勉な努力家
 という意味があるそうで
 す。他市町村の良き所は
 学びつつ、当市の独自性
 も発揮しながら、議会改
 革にまい進していきたい
 と考えています。

(櫻井 政文)

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	広報常任委員長
小野	櫻井	上田	手代木	熱海	大橋	熊谷
幸男	政文	勉	せつ子	重徳	博之	昌崇